

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座・教授
氏名 Name	渡邊 克昭
専門分野 Academic Field	現代アメリカ文学・文化

平成 30 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	21 世紀英語文学におけるポストヒューマンの思想史的展開—物質としての生命				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>20 世紀後半以降、自然科学の多様な分野でテクノロジーが加速度的に発展するとともに、人間とはいったい何かという、人間存在の限界を規定してきた境界が根底から揺らぎ始めた。そうした背景にあるのは、人間の生命が物質によって構築されている以上、自由に改変することが可能であり、人間の能力は無限に拡張できるという思考の枠組みである。それによれば、人間の身体と精神と世界を継ぎ目のないものとして接合することが究極の目的となる。そうした現代のポストヒューマン的状况は、人間の能力を飛躍的に拡充し、身体性のありようを改変する生命工学と、仮想世界と脳を接続し脱身体化を志向する脳科学という、一見互いに逆行するベクトルを孕んだ二つの領域において進行している。本研究は、21 世紀英語文学におけるポストヒューマンとヒューマンが多次的に織りなす錯綜したインターフェイスに着目し、Foucault、Derrida、Deleuze、Agamben、Morton 等、現代思想史の論脈を踏まえつつ、人間が自らの存在基盤の臨界にいかに向き合うかを学際的に究めることを目的とする。本年度は、物質としての生命が惹起するアポリアを手掛かりに、「人類以後」をめぐる無意識を多様なテキストから抽出し分析を行う。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	英文学およびアメリカ文学	文学一般関連	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連	思想史関連	科学社会学および科学技術史関連
キーワード Keywords*2	ポストヒューマン	21 世紀	英語文学	思想史的展開	物質としての生命